

財団法人尾瀬保護財団平成12年度事業報告
(平成12年4月1日から平成13年3月31日まで)

概要

尾瀬の優れた自然環境を保全し適正な利用を図るため、入山者指導等の利用者指導事業を実施するとともに、受託事業として植生復元事業、ビジターセンター等利用施設の維持管理事業及び国立公園利用適正化推進事業を実施した。

また、尾瀬賞の募集・表彰、尾瀬ボランティア活動の充実強化、尾瀬通信の発行やインターネットのホームページを活用した情報提供等の事業を実施した。

理事会等諸会議の開催

財団の適正な運営を図るため、理事会及び評議員会を開催した。

- 第11回理事会
- ・日 時 平成12年6月16日(金) 午前10時30分～11時35分
 - ・会 場 都道府県会館(東京都千代田区平河町)401会議室
 - ・議 事
 - 1 平成11年度事業報告について
 - 2 平成11年度決算について
 - 3 評議員の辞任に伴う後任評議員の選任について
 - 4 基本財産への繰り入れ及び運用について
 - ・報 告
 - 1 尾瀬のシカに関するシンポジウムの開催概要について
 - 2 尾瀬サミット2000の開催概要について
 - 3 第4回尾瀬賞の募集について
 - 4 第10回評議員会の概要について
- 第11回評議員会
- ・日 時 平成12年6月15日(木) 午後1時30分～2時35分
 - ・会 場 都道府県会館(東京都千代田区平河町)401会議室
 - ・議 事
 - 1 平成11年度事業報告について
 - 2 平成11年度決算について
 - ・報 告
 - 1 評議員の改選について
 - 2 尾瀬のシカに関するシンポジウムの開催概要について
 - 3 尾瀬サミット2000の開催概要について
 - 4 第4回尾瀬賞の募集について
 - 5 第10回理事会の概要について
- 第12回理事会
- ・日 時 平成13年3月28日(水) 午後1時30分～2時50分
 - ・会 場 都道府県会館(東京都千代田区平河町)402会議室
 - ・議 事
 - 1 平成12年度事業計画の変更について
 - 2 平成12年度収支予算の変更について
 - 3 平成13年度事業計画について
 - 4 平成13年度収支予算について
 - 5 評議員の辞任に伴う後任評議員の選任について
 - 6 理事長、副理事長及び常務理事の選任について

・報 告

- 1 尾瀬入山適正化推進委員会の概要について
- 2 尾瀬賞について
- 3 第11回評議員会の概要について

第12回評議員会 ・日 時 平成13年3月28日(水)午前10時30分～11時50分

・会 場 都道府県会館(東京都千代田区平河町)402会議室

・議 事

- 1 平成12年度事業計画の変更について
- 2 平成12年度収支予算の変更について
- 3 平成13年度事業計画について
- 4 平成13年度収支予算について
- 5 役員の任期満了に伴う改選について

・報 告

- 1 尾瀬入山適正化推進委員会の概要について
- 2 尾瀬賞について
- 3 第11回理事会の概要について

事業実績

1 利用者指導事業

(1) 入山者指導事業

入山口における指導

尾瀬の入山口において、尾瀬の特質にあった利用方法の普及や入山者のマナー向上を図るため、尾瀬を訪れる人々に対して、ごみの持ち帰りや動植物採取の禁止などを呼びかけるとともに、登山道状況等の案内を行った。

尾瀬ガイドの実施

尾瀬ツアーを計画している旅行会社等を対象に、尾瀬の現状と適切な利用方法を説明し、ツアー募集に当たっての利用者への啓発や利用の分散化について協力を呼びかけた。

- ・大阪地区 平成13年1月30日 大阪商工会議所 参加22社
- ・東京地区 平成13年2月8日 都道府県会館 参加29社

尾瀬ボランティアの活用

尾瀬ボランティア(平成13年3月31日現在登録者数:501名)により入山口指導及び美化清掃活動を実施するとともに、尾瀬地域内のスポット解説活動、移入植物除去作業及び植生復元作業等を実施した。

また、尾瀬ボランティアの活動を支援するため、各種ボランティア養成講座を開催した。

平成12年度の活動内容は、次のとおりである。

ア 鳩待峠、沼山峠等における入山口指導

尾瀬でのマナーや現地状況の説明、鳩待峠口での靴底の種子落としの指導、団体ツアー客向けマナー指導、軽装者への注意喚起、尾瀬地域での美化活動

平成12年度尾瀬ボランティアによる入山口指導活動状況

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
|--|--|--|--|--|

| | 5/20～6/25 | 7/1～8/13 | 9/23～10/8 | 計 |
|-----|-----------|----------|-----------|------|
| 日数 | 12日間 | 14日間 | 6日間 | 32日間 |
| 鳩待峠 | 135人 | 127人 | 75人 | 337人 |
| 沼山峠 | 44人 | 65人 | 24人 | 133人 |
| 大清水 | 25人 | 6人 | 7人 | 38人 |
| 合計 | 204人 | 198人 | 106人 | 508人 |

イ 至仏山東面登山道整備作業

- ・ 柵立てとロープ張り 平成12年6月30日
- ・ 柵はずしとロープはずし 平成12年10月16日

ウ 移入植物除去作業

- ・ 事前講座 平成12年7月23日 群馬県社会福祉総合センター
- ・ 除去作業 平成12年7月28日 三平下
- 平成12年8月8日 鳩待峠～至仏山、鳩待峠～アヤメ平

エ スポット解説活動

(a) 研修

- ・ インタープリテーション研修（現地研修：尾瀬沼～山ノ鼻）
平成12年6月19日～20日、平成12年6月22日～23日
- ・ インタープリテーション研修（講座：群馬県宮城村「キャンプ・ワンダ－」）
平成12年9月18日～19日

(b) スポット解説活動（お話しボランティア）の実施状況

| | 5/29～6/23 | 7/7～7/31 | 8/4～10/10 | 計 |
|--------|-----------|----------|-----------|------|
| 日数 | 5日間 | 5日間 | 5日間 | 15日間 |
| 尾瀬ヶ原地区 | 20人 | 20人 | 28人 | 68人 |
| 尾瀬沼地区 | 11人 | 15人 | 18人 | 44人 |
| 合計 | 31人 | 35人 | 46人 | 112人 |

オ 至仏山中腹荒廃地植生復元作業 平成12年9月16日

カ 2000ありがとう尾瀬清掃活動 平成12年9月24日、平成12年10月17日

キ 県道沼田檜枝岐線（一ノ瀬～岩清水間）植生回復作業

平成12年10月20日～21日

ク その他

尾瀬での自主ボランティア活動、旅行会社パンフレットの収集、身近な地域でのボランティア活動など

平日利用の啓発推進

福島、新潟、群馬3県のFM局によるラジオ放送などにより、尾瀬の平日利用の呼びかけを行った。

啓発PR事業の実施

ア 尾瀬保護及び財団PR事業

尾瀬の保護と財団のPRを図るため、各種イベント等に参加し、会場内に「尾瀬コーナー」を設け、尾瀬における利用マナーの向上と平日利用の呼びかけ等を行った。

- ・ 平成12年4月5日 スズラン百貨店主催「尾瀬写真展」（前橋）
～4月10日

- ・平成12年4月13日 TEPCO「尾瀬」写真展（TEPCO銀座館）
～4月25日
 - ・平成12年7月29日 沼田市立図書館主催「尾瀬・玉原展」
～8月6日
 - ・平成12年10月15日 ぐんま環境フェスティバル2000（群馬県庁県民ひろば）
 - ・平成12年10月21日 まるごとぐんま観光展in恵比寿（東京・恵比寿ガーデン
～10月22日 プレイス）
 - ・平成12年10月24日 群馬交響楽団チャリティコンサート（東京芸術劇場）
 - ・平成12年10月28日 ぐんまの山村フェア（群馬県庁県民ひろば）
～10月29日
 - ・平成12年12月10日 沼田ごったくまつり（沼田市福祉センター）
- イ 「わたしの尾瀬」フォトコンテスト及び写真展の開催
NHKとの共催で、尾瀬の「自然」、「動植物」、「人」、「保護」をテーマとしたフォトコンテストを実施し、入選作品や財団パネルを展示するとともにスライドレクチャーを行い、尾瀬の自然保護を訴えた。
- ・応募状況等：応募総数 808点、入選数 50点
 - ・開催期間等：平成12年12月8日～12月13日 群馬・高崎シティギャラリー
平成13年1月14日～1月21日 福島・NHK福島放送局
平成13年3月22日～3月27日 新潟・新潟大和デパート
ほか4会場で開催

ウ 「尾瀬、昔の写真展」の開催

尾瀬に対する保護思想の普及啓発や資料の収集・保全を図るため、平成8年度に公募を行った昔の尾瀬の写真を展示する「尾瀬、昔の写真展」を開催した。

- ・平成12年9月26日 ベイシア西部モール店（NHK写真展と共催）
～10月2日
- ・平成13年3月29日 株大和上越店（NHK写真展と共催）
～4月3日

エ 「尾瀬フォーラム」の開催

当財団の取組みを広く紹介し、尾瀬に心を寄せる方々とのふれあいを深めるため、第2回尾瀬フォーラムを開催した。

- ・開催日 平成12年12月8日（金）
- ・開催場所 高崎シティギャラリー・コアホール
- ・参加人員 270名

(2) 自然解説事業

自然解説活動の実施

尾瀬山の鼻及び尾瀬沼の両ビジターセンターに自然解説員を配置し、朝夕の自然観察会やセンター内においてスライドレクチャーなどを実施した。

また、自然解説活動の一層の充実を図るため、ハイシーズンを中心としてサブレジャーによる尾瀬地域内での啓発・指導活動を実施した。

ア 尾瀬山の鼻ビジターセンターにおける自然解説活動実施状況

| | | | | |
|------------|------|-----|------|--------|
| ・自然観察会 | 実施回数 | 89回 | 参加人数 | 1,338人 |
| ・スライドショー | 実施回数 | 79回 | 参加人数 | 2,471人 |
| ・ハイビジョン上映会 | 実施回数 | 77回 | 参加人数 | 1,045人 |
| ・団体レクチャー | 実施回数 | 34回 | 参加人数 | 992人 |

イ 尾瀬沼ビジターセンターにおける自然解説活動実施状況

| | | | | |
|-------------|------|---------|------|--------|
| ・自然観察会 | 実施回数 | 191回 | 参加人数 | 2,344人 |
| ・スライドショー | 実施回数 | 87回 | 参加人数 | 4,773人 |
| ・マルチスライド上映会 | 参加人数 | 14,753人 | | |
| ・団体レクチャー | 実施回数 | 20回 | 参加人数 | 1,060人 |

(3) 指導者養成事業

指導者の養成

尾瀬における自然解説活動の充実や自然解説員の資質向上を図るため、自然解説員を山のふるさと村ビジターセンターへ派遣し、自然解説指導者としての養成を行った。

利用者指導のための資料の収集

入山者指導や自然解説活動に必要な資料の収集を行った。

(4) 啓発資料作成事業

啓発パンフレットの発行

尾瀬の案内、マナー、自然解説等の啓発資料として、トレッキングガイドの見直しを行い改訂版を作成した。

また、尾瀬地域の交通対策のパンフレットを作成して、関係者や一般の方々に配布し、交通規制の内容について周知を図った。

入山者指導用ビデオの活用

尾瀬についての理解を深めてもらうため、平成11年度に作成した啓発用ビデオをイベント等で放映するとともに、シャトルバス運行会社等に配布し車内での活用を図った。

2 環境保全事業

(1) 植生復元事業

環境省、群馬県及び福島県からの受託事業として、アヤメ平・横田代、至仏山東面登山道周辺、沼尻地区及び見晴地区における裸地・荒廃した湿原の植生復元事業を実施した。

- ・至仏山東面登山道周辺の植生復元作業
- ・沼尻周辺の植生復元及び大江湿原立入防止柵の設置等
- ・アヤメ平・横田代植生復元作業
- ・見晴地区の植生復元及び立入防止柵の設置等

(2) 尾瀬のシカに関するシンポジウムの開催

NGOの立場から、尾瀬のシカ問題について、専門家等による意見交換を通じて一般の方々の理解を得るため、関係機関や関係団体の協力を得て、シンポジウムを開催した。

- ・開催日 平成12年7月8日(土)
- ・開催場所 大宮ソニックシティ
- ・参加人員 182人

3 施設管理事業

(1) 施設維持管理事業

ビジターセンターの管理運営

環境省から尾瀬沼ビジターセンターの管理運営を、群馬県から尾瀬山の鼻ビジターセンターの管理運営をそれぞれ受託し実施した。

・ビジターセンター運営期間：平成12年5月中旬～10月下旬

公衆トイレの維持清掃

環境省から尾瀬沼第2公衆トイレの維持清掃を、群馬県から山ノ鼻公衆トイレ及び竜宮公衆トイレの維持清掃をそれぞれ受託し実施した。

なお、トイレの維持清掃費等の一助とするため、山ノ鼻公衆トイレ及び竜宮公衆トイレに「協力金募金箱」を設置し、利用者への協力を呼びかけた。

(2) 利用者対策事業

尾瀬山の鼻及び尾瀬沼の両ビジターセンター内に利用者のためのコース案内を表示した。

4 調査研究事業

(1) 国立公園利用適正化推進事業

日光国立公園尾瀬地区の貴重で繊細な自然環境を将来にわたり保全していくため、平成11年度に構築した国立公園利用適正化システムの改善・充実を図り、より具体的・効果的な方策を検討するための事業を環境省から受託して実施した。

利用適正化推進事業

指導マニュアルや各種パンフレット等を作成・活用し、尾瀬の各入山口や尾瀬地域内外において利用適正化の啓発活動を実施した。

また、ホームページを運用し、インターネットを使用したリアルタイム情報の提供による適正利用の啓発活動を実施した。

利用分散化推進事業

ア 適正収容力の検討

利用者数と自然環境への影響や利用快適性との関係を明らかにするため、その調査方法を検討するとともに必要な予備調査を実施した。

イ マイカー規制等の効果検証

マイカー等規制による効果を検証するため、マイカー利用の実態及び利用者の意識調査を行った。

ウ 旅行会社に対する働きかけの強化

旅行会社との連携を図るため連絡会議を開催するとともに、添乗員を対象とした研修会（平成13年4月開催）の準備を行った。

自然改変状況モニタリング調査事業

二ホンジカによる植生破壊状況を把握するため、赤外線航空写真撮影を行った。

ごみ処理対策検討調査事業

ごみ発生量と処理方法の実態を把握するための調査等を行い、尾瀬の特殊性

を踏まえた実効性のあるごみ処理システムについて報告した。

野生生物安全管理方策検討調査事業

クマと共存しながら利用者の安全を確保するため、クマに関する危機管理の専門家を招いて利用者受け入れ側に対する研修会を実施するとともに、利用者向けの注意を喚起するパンフレットを作成した。

(2) 尾瀬の自然読本作成事業

尾瀬の自然について、一般の方々にわかりやすい「(仮称)尾瀬自然読本」を作成するため、編集委員会を開催した。

- ・平成12年6月9日、平成12年7月11日

5 顕彰事業

環境保全に関する学術研究等を支援するため、第3回尾瀬賞の授賞式を行ったほか、第4回尾瀬賞の選考を行った。

- ・第3回尾瀬賞授賞式 平成12年6月16日 都道府県会館402会議室
受賞者：東京農工大学農学部助教授 楊宗興氏
- ・第4回尾瀬賞受賞者 該当者なし

尾瀬賞運営委員会及び選考委員会の開催

尾瀬賞の募集及び受賞者の選考等のため、尾瀬賞運営委員会及び尾瀬賞選考委員会を開催した。

- ・尾瀬賞運営委員会 平成12年5月16日 第4回尾瀬賞の募集について
平成13年2月15日 受賞適任者の選考及び第5回尾瀬賞の募集について
- ・尾瀬賞選考委員会 平成13年1月18日 第4回受賞候補者の選定について

6 友の会会員の募集

友の会会員の拡充を図るため、関係機関や関係団体等に入会を呼びかけるとともに、各種イベント及びインターネットのホームページ等を通じて会員の募集を行った。会員に対して、会員証を交付するとともに、定期的に会報(お知らせ)や「尾瀬通信」等を送付するなど尾瀬に関する情報の提供を行った。

また、友の会会員が開催する写真展について、財団ホームページに掲載し広く周知した。

| | | |
|-----------|---------|-------------|
| 平成10年度末現在 | 賛助会員13社 | 個人会員 1,119人 |
| 平成11年度末現在 | 賛助会員11社 | 個人会員 1,218人 |
| 平成12年度末現在 | 賛助会員10社 | 個人会員 1,245人 |

7 その他の事業

尾瀬入山適正化推進委員会の開催

尾瀬入山適正化検討委員会報告書において提言された諸施策の推進を図るために設置された尾瀬入山適正化推進委員会を、平成13年1月25日に開催し、諸施策の推進状況等について検証等を行った。

尾瀬サミットの開催

平成12年8月3日(木)～4日(金)に尾瀬山ノ鼻地区(群馬県)において「尾瀬サミット2000」を開催した。

尾瀬サミットにおいては、役員をはじめ尾瀬に関わる人々が一堂に会し、尾瀬に関する様々な問題について話し合いが行われた。

財団設立5周年誌の作成

財団設立5周年を記念して「設立5周年のあゆみ」を作成し、関係機関や報道機関等に配布するとともに、今後の財団活動についての理解を深めるための資料として活用していくこととした。

8 収益事業(特別会計)

財団の事業活動の財源を確保するため、尾瀬山の鼻及び尾瀬沼の両ビジターセンターにおいて尾瀬に関する書籍、地図及び絵はがき等の販売を行ったほか、群馬県からの委託により「2001年自然環境カレンダー」の販売を行った。